



TOKIO MARINE

東京海上ホールディングス株式会社
第8回 定時株主総会

東京海上ホールディングス株式会社

TOKIO
MARINE
GROUP

対処すべき課題

平成22年度のわが国経済

デフレ環境、内需の低迷



**海外経済の改善等により
持ち直し傾向が続く**

対処すべき課題

保険業界

日本経済の一層の成熟化、
少子高齢化等の影響



市場の拡大が
見込みにくい状況

対処すべき課題

保険業界

損保業界

大手社の経営統合により
競争環境さらに厳しく

対処すべき課題

東京海上グループの課題

**中期経営計画
「変革と実行2011」で掲げた
目標の実現**

対処すべき課題

平成21年度グループ合計の修正利益

修正利益 1,654億円

修正ROE 5.8%

主な要因

**金融市場混乱の反動、
自然災害や大口事故の減少**

対処すべき課題

平成21年度修正利益 事業別の特徴

**海外保険事業の修正利益
765億円**

**グループ全体の修正利益の
50%弱を占める**

対処すべき課題

平成22年度グループ合計の修正利益目標

グループ合計

修正利益 1,360億円

修正ROE 4.3%

対処すべき課題

国内損保事業

競争優位性のある
商品・サービスの提供

販売基盤の強化・拡大

新たなマーケットの開拓

持続的な収益成長を目指す

対処すべき課題

国内損保事業

東京海上グループの中核事業

高い品質と価値ある提案

国内損保事業の基盤を
磐石なものに

対処すべき課題

国内生保事業

お客様のニーズを的確にとらえた新商品を投入

生損保一体となった取り組み

営業の進展を図る

対処すべき課題

国内生保事業

あんしん生命

保有契約300万件を達成

「お客様本位」にこだわり
業務に邁進

対処すべき課題

海外保険事業

米国フィラデルフィア社、
英国キルン社をはじめとする
各社の着実な成長

規模と収益の拡大を目指す

対処すべき課題

海外保険事業

**先進国と新興国
バランスよく成長戦略を実行**

**インド、サウジアラビアで
合併保険会社の立ち上げを決定**

対処すべき課題

東京海上グループ

国内損保事業



収益性の向上

国内生保事業
海外保険事業

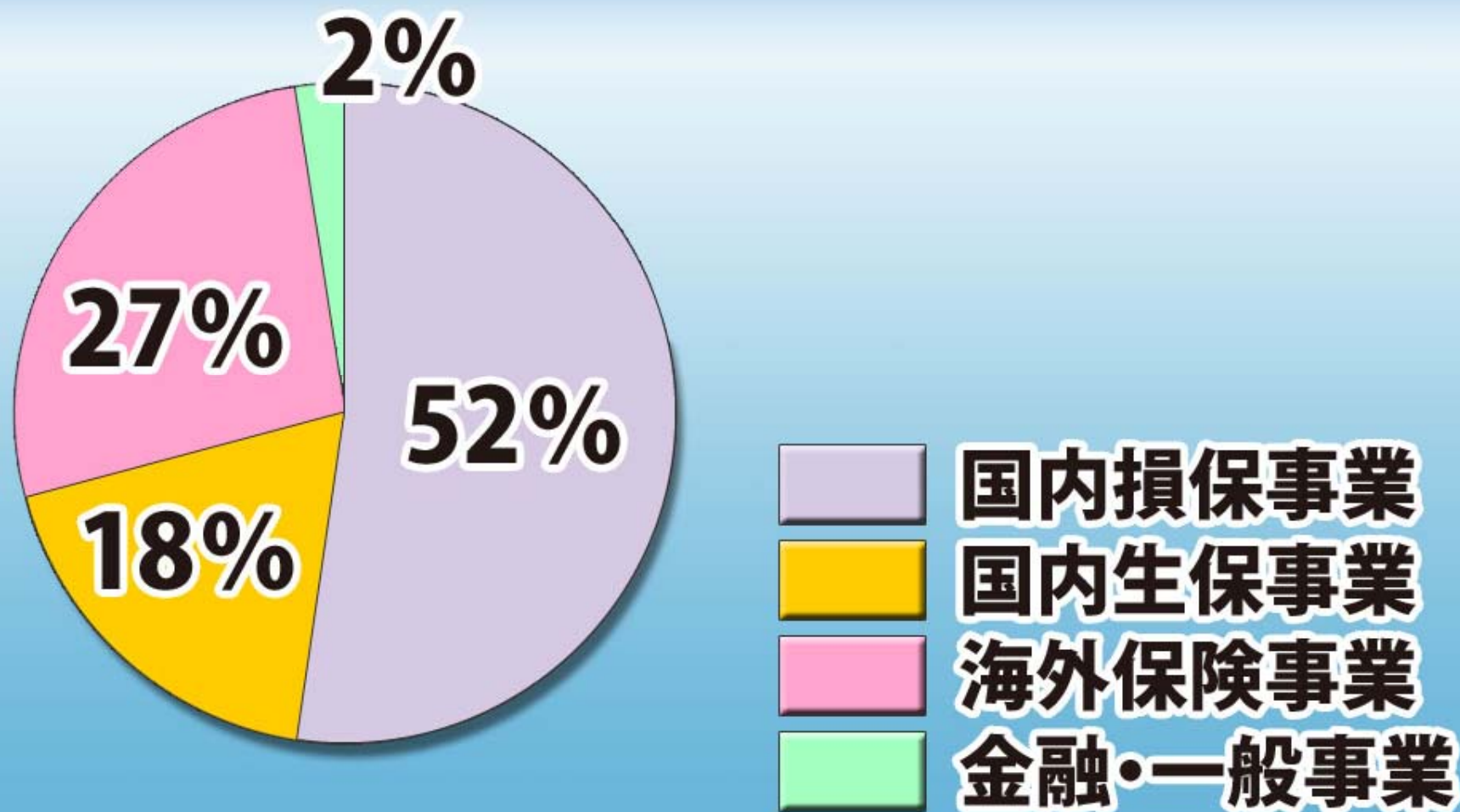


さらなる強化

グループの持続的な
成長の実現を目指す

対処すべき課題

平成23年度に目指す事業ポートフォリオ



対処すべき課題

平成21年度修正利益 事業別の特徴

**国内損保事業の
業績回復が十分でない**



**国内損保事業の強化を
重要な課題として取り組む**

対処すべき課題

経営・管理態勢の強化

グローバルベースの
経営・管理態勢の強化

リスクベース経営の
実現に向けた態勢整備

対処すべき課題

経営・管理態勢の強化

資本とリスクの
バランスを
適切にコントロール



財務の
健全性を維持

地域やリスク等の
分散を考慮した事業
ポートフォリオの構築



収益性の向上

対処すべき課題

東京海上グループ

「お客様に品質で選ばれ、成長する」



TOKIO MARINE

「変革」と「攻め」のスピードを加速



TOKIO MARINE

東京海上ホールディングス株式会社
第8回 定時株主総会

東京海上ホールディングス株式会社

TOKIO
MARINE
GROUP



TOKIO MARINE

東京海上ホールディングス株式会社
第8回 定時株主総会

東京海上ホールディングス株式会社

TOKIO
MARINE
GROUP